

1 取引先からの期待・要望等

【商工中金に対する期待】

1. 中小企業専門・全国ネットという商工中金の強みと地域に深く根ざした地域金融機関の強みは、どちらも重要。両者が連携・協力することは中小企業や地域経済にとって必要であり、そのためには、同じサービスが提供できるようにするべき。商工中金の民営化に向けた努力と成果は中小企業のためであり、その努力を無駄にしないためにも民営化に進むべき。

【改革に当たっての要望】

1. 中小企業が必要とするサービスを提供できないということになって本末転倒。これまでどおり中小企業のための金融機関であり続けるため、株主資格制限や特別準備金など必要な措置は残してほしい。

2 金融団体からの要望等

【今回の議論に対する懸念点・商工中金に対する期待】

1. 関根社長の下、コロナ禍で良好な関係構築が進んだが、平時になると元に戻ることを懸念。民間ゼロゼロ融資返済本格化など厳しいこの「今」の時期に改革を実行する必要があるのか。当分の間は、この関係を崩さないようにすることが重要ではないか。
2. 「商工中金の在り方検討会」における提言を踏まえた新たなビジネスモデルを引き続き維持していただき、民間金融機関との相互補完のもと、連携・協調が進むことを期待。

【改革に当たっての要望】

1. 商工中金の民営化のタイミングについては、ウイズ／ポストコロナにおける新たなビジネスモデルの定着状況を見極めるとともに、多様なステークホルダーの意見を聴くなど、慎重に判断すべき。
2. 政府関与が残る間は、商工中金の各種貸付制度、提供サービス等に関し、民間金融機関との適正な競争関係の確保が必要。特別準備金が残るのであれば、民業圧迫や連携・協業の制度的担保措置を用意して欲しい。
3. 商中の新たなビジネスモデルの定着・深化を担保するためのガバナンスが必要。政府保有株が処分された後であっても、ビジネスモデルの状況をレビュー・モニタリングする仕組みを設けてもらいたい。例えば、DBJのアドバイザリーボードが参考になる。
4. 危機対応業務への民間金融機関参入は、システム対応や日本公庫への報告、会計検査院の検査対応など負担が大きく、実務上困難であることを踏まえると、セーフティネットとして商工中金が引き続き同業務を担うことに違和感はない。

第3回検討会での議論の整理

3 関根社長の発言

1. 個々で見れば「まだまだ不十分」、「現在の良好な関係はコロナ禍にあったから」といった懸念の声もあることは十分に認識した上で、商工中金と民間金融機関とは、地域経済やそこで事業を営む中小企業を共に支えるという共通の価値観を共有するパートナーであり続けたい。これが今の商工中金の経営スタンスである。
2. 中小企業のみが株主となることについては、政府株処分・民へのガバナンス移行により、真に中小企業がバナンスを実現し、経営責任は組合と中小企業に選ばれた経営陣が負うものと明確化される意義がある。完全民営化を実現するとの経営方針の下で役職員一同取り組み、それについてご評価いただいた「今」実施する必要がある。
3. 現行店舗網の維持については、コストを抑えながら維持する方針。
4. ガバナンスについては、半官半民という形態が、経営の責任を不明確にし、過去も不正事案が発生。「今」なのかという指摘に対しては、「今」だと考えている。変化が激しい経営環境において、停滞は衰退につながるもの。むしろ、できることを拡大し、民間金融機関と一緒に、中小企業を支えていくことが大事。

4 委員等からの質問・意見

1. 地銀協アンケートの「商中が収益獲得へのこだわりが強いことへの懸念」は、低金利競争をしているということなのか。地域金融機関が十分にサービス提供している分野での競合禁止という要望があったが、例えば住宅ローンのことか。商中が新たに組みたいという分野のことなのか。
2. イコールフットイングを担保してほしいとの要望だが、具体的には、どういう内容を考えているのか。また、ビジネスモデルが逆行する懸念を持たれているようだが、例えば、法的な手当があれば懸念は払拭されるのか。さらには、見直しの議論は、コロナ禍がおさまる平時に戻ってからの欲しいとの要望だが、具体的な時期の想定はあるのか。
3. 改革のタイミングは慎重にとの要望だが、中小企業を取り巻く課題は待ってはくれない。この状況だからこそ改革が必要。改革後のモニタリングが必要とのことだが、民間がモニタリングをするのか。中企庁等が見ていくということでは足りないのではないか。
4. 金融機関は「改革は時期尚早」と言っているが、何が起きるか未来予測は不可能。改革をやってみた上で必要があれば対応していけばよいのではないか。
5. (経営支援センターという) 支援機関の立場からすると、民業圧迫の議論が未だにできるのは好ましくない。だらしない民間金融機関・メインバンクも多い。地銀協のアンケート結果を踏まえて商工中金を一方的に悪者にすべきではない。どういう事例で起きたことなのかをよく見る必要がある。中小企業目線で議論すべき。
6. (改革の議論は) 平時に戻ってからの意見であるが、過去30年間を振り返っても、中小企業にとって「平時」はなかった。